

キャリアデザイン I

(選択1単位) 1年前期

学生部長、飯田教授、藤井文明*、小林隆子*

教
キ
リ
ア
育
ア

授業テーマ・内容

「キャリアデザイン」とは、自分自身の生き方や働き方を自主的かつ主体的に構想し、実現していくことをいう。大学生活は、そのような自身のキャリア設計を考える機会でもあり、より自分に適した人生を送れるようになるための準備期間でもある。その間に、現状の自分の経験や持ち合わせた能力を再認識して、自己の理解を深め、今後のキャリアや自身が望む将来像を自らで描いていくことが重要である。また、社会の中で生きていく中で、時として、情報を収集してそれを分析できる力や、物事を他者に論理的に説明できるコミュニケーション力、さらには課題を発見してそれを解決できる力など、様々な能力が要求されることがあるので、学生生活を送る中でこういった今後生きていくために役立つ力も養成していかなければならない。

この「キャリアデザイン I」では、本学での学生生活の目的や目標を明確にすることで、充実した学生生活を計画的に送れるようになるとともに、将来の職業世界への関心を深め、働くことの意義や職業世界の構造などについて知ることで、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動がとれるようになることを目的とし、キャリアデザインに関する基礎を学ぶことにする。また、実践的な演習を通じて、社会の中で生きていくうえで必要となる知識や能力、働くうえで必要な職務適応性・組織適応性を身につけていくことにする。その演習の一つとして、就職試験などで活用されているSPIを採り上げ、その演習を通して最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

学生自身が、本学での学生生活の目的や目標を明確化し、充実した学生生活を計画的に送ることができるようにするとともに、将来の自分自身のキャリアを考えた選択行動をとれるようにすることが当該科目のねらいである。また、学生参加型(ワーク重視)の授業を展開していくことで、社会人として必要なスキルである「書く」・「聞く」・「話す」力を身につけていく。

最終的には、社会人として求められる最低限の一般常識やマナーを身につけるとともに、自らの「将来像」を意識した学生生活を送ることができるようになっていくことが目標である。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	－%	中間試験	－%
小テスト	25%	レポート	25%
演習課題	－%	平常点	50%

テキスト

「MY CAREER NOTE NAVIGATION」
補足レジュメを必要に応じて配布

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎授業ごとに、全体向けにレポート(コミュニケーションシート)の内容についてフィードバックを行う。

履修条件

1年次生対象(社会人学生を除く)。
必ず毎回出席し、自主的に行動すること。

備考

担当教員(藤井講師、小林講師)はキャリアカウンセラーの資格を有し、他大学・企業等でキャリア指導・支援の経験を積み実践している

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション	この講義の目的と主旨である「なりたい自分」をイメージすることの重要性を説明し、本学の学びや大学生活の過ごし方などについてレクチャーする。	予)シラバスを読み込んでおく(約2時間) 復)授業の振り返りを行う(約2時間)
第2週	学生と社会人の違いについて考える	講義内容についてテキストに沿って説明する。また、高校までの生活や学問を振り返り、短大や社会との違いについて考察する。	予)高校と短大の違いについて考察しておく(約2時間) 復)授業の振り返りを行う(約2時間)
第3週	コミュニケーションとは何か	社会で求められる「コミュニケーション」について考察し、他者とどのように意思疎通していくべきかを学ぶ。	予)コミュニケーション力とは何かを考察しておく(約2時間) 復)授業で学んだワークを、日常で発見してみる(約2時間)
第4週	自分について考える①	過去から現在まで、自分のタイムラインを振り返り、自身の志向や強み、課題を捉える。また、将来に向けてどんな自分になりたいかを考える。	予)これまでの自分について振り返って くる(約2時間) 復)自分の強みは何か、再整理する(約2時間)
第5週	自分について考える②	前回のことを踏まえ、自分について見つめ直し自分をどうアピールできるか考える。また、今現在「自分のことをどこまで人に伝えられるか」を体験してみる。	予)授業で考えた自分の強みを、身近な人に伝える(約2時間) 復)自分の強みを、身近な人と伝わるように伝える(約2時間)
第6週	社会を知る①	自身が生きている「社会」について、どんな仕事があるのかを考察し、社会に対する視野を広げる。	予)仕事人インタビューを行ってくる(約2時間) 復)授業で習った業界についてさらに調べを深める(約2時間)
第7週	社会を知る②	社会で求められる力、人物像について考え、短大での学びの中でどのようにその力を身につけていくかを考える。	予)興味を持った企業について調査する(約2時間) 復)企業についての研究を深める(約2時間)
第8週	将来について考え、大学生活の目標をたてる①	今まで学んできたことを振り返り、これからの自分について考え、行動計画を構想する。	予)これまでの授業で考えたこと、調べたことを振り返る(約2時間) 復)希望の進路実現に向けた行動計画表の準備をする(約2時間)
第9週	将来について考え、大学生活の目標をたてる②	前日に引き続き今まで学んできたことを振り返り、これからの自分について考え、行動計画表に記入する。	予)これまでの授業で考えたこと、調べたことを振り返る(約2時間) 復)希望の進路実現に向けた行動計画表を完成させる(約2時間)
第10週 ～ 第14週	SPI 他	プリントなどを通して演習を行い、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第15週	まとめ	行動計画を継続するために、夏休みの過ごし方について具体的な計画を立てる。	予)行動計画表を時期ごとに詳細に考える(約2時間) 復)夏休みの行動計画を完成させる(約2時間)

キャリアデザインⅡ(機械・電気電子・ものづくり創造工学科)(選択1単位) 1年後期 学生部長、飯田教授、藤井文明*			
授業テーマ・内容 自分自身の今後のキャリアや自身が望む将来像を自らで描き、その実現に向けて行動をしていくためには、まずは現状の自分の経験や能力を再認識して、自己の理解を深めることが必要不可欠である。また、社会の中で生きていくには、他者との関わりを避けて通ることは不可能であり、他者に自分自身を理解してもらうには、自分自身や自らの考えを他者に正確に伝える能力が必要となる。 この「キャリアデザインⅡ」では、将来の職業を念頭においてキャリア形成に重点を置くこととし、自分自身を深く理解するとともに、自らを他者に理解して貰える効果的な表現方法をより実践的な演習を通じて学ぶことにする。 なお毎回、授業冒頭に ①数名の学生による「30秒ニュースプレゼン」、②小テスト、③コミュニケーションシートの記入、を実施する。			
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連 自分自身を客観的に見ることができるとともに、自身のこれまでの経験や現在有する能力などの再認識を行い、自己の理解を深めさせることがねらいである。より実践的な演習を通じて、現状自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を身をもって学ぶ。さらに、自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力も身につける。 最終的には、自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができるようになり、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動していけるようになることが目標である。			
成績評価の方法・評価基準 期末試験 ー% 中間試験 ー% 小テスト ー% レポート 50% 演習課題 ー% 平常点 50%		テキスト 「就職の手引き」 補足レジュメを必要に応じて配布 参考書	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック 毎授業ごとに、全体向けにレポート(コミュニケーションシート)の内容についてフィードバックを行う。			
履修条件 1年次生対象(社会人学生を除く)。 キャリアデザインⅠに引き続き、履修することが望ましい。 必ず毎回出席し、自主的に行動すること。		備考 担当教員はキャリアカウンセラーの資格を有し、他大学・企業等でキャリア指導・支援の経験を積み実践している	
授業計画			
週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション	講義の目的と主旨を説明する。なぜキャリアを考 えることが必要か、コミュニケーションを取りなが ら考察する。	予)自分のキャリアについて考えてくる(約2時間) 復)1年後期で行う準備について再度整理する(約2時間)
第2週	社会理解を深める① (チーム活動)	社会・業界について、チームごとに役割を決め、 研究活動を行う。	予)チームごとに、テーマとなっている課題について調べてくる(約2 時間) 復)課題に出された業界研究を行う(約2時間)
第3週	社会理解を深める② (チーム活動)	チームの研究活動をまとめ、他者に伝えていく 準備(プレゼンテーションの準備)を行う。 プレゼンテーションのポイントを知る。	予)チームごとに発表準備を進める(約2時間) 復)チームごとに発表の準備を行う(約2時間)
第4週	プレゼンテーション	自分たちの研究をプレゼンテーションすると同時 に、他者のプレゼンテーションを聞いて自分たち の発表を振り返る。	予)発表に必要なものを準備してくる(約2時間) 復)他者のプレゼンテーションで印象的だったことをまとめておく(約 2時間)
第5週	社会理解 まとめ	2～4回のチームでの活動、プレゼンテーション を振り返り、社会理解を深めるとともに、今後 どのようなことに気をつけていくか学ぶ。	予)自分達のプレゼンテーションについて、課題を考えてくる(約2時間) 復)授業で気づいた学びを忘れないよう、日常生活の中でも生かしてい く(約2時間)
第6週	キャリア形成の基準	社会で求められる能力を理解し、自身の仕事選択 の基準を明らかにしていく作業を行う。	予)就きたい職業に必要な力を考える(約2時間) 復)就きたい職業に必要な能力を理解し、何をすべきかを再度整理する (約2時間)
第7週	自身の強みを考える①	これまでの経験や体験の中から、自分の強みを見 つける。	予)大学指定の履歴書の項目を理解する(約2時間) 復)自己PR・志望動機を再度整理する(約2時間)
第8週	自身の強みを考える②	エントリーシートや面接等、就職活動の場面に おいて、どのように相手に自身の強みを伝えるか、 そのポイントを理解する。	予)学生時代に頑張ったことを振り返っておく(約2時間) 復)自分の強みとそれがどんな場面で発揮されたかを再度整理する(約 2時間)
第9週	キャリアビジョン	自身の強み、社会理解をふまえ、「キャリアビジョ ン」のポイントを理解する。	予)なりたい自分をイメージしてくる(約2時間) 復)キャリアビジョンを再整理する(約2時間)
第10週	コミュニケーション 社会人としてのマナー	社会人としてのマナーやルールの重要性、就職 活動における心構えを学ぶ。	予)職場や就職活動に必要なマナーとは何か考えておく(約2時間) 復)授業で学んだ挨拶や敬語、心構えを復習しておく(約2時間)
第11週	自己表現力を磨く①	エントリーシートを題材に、自己を上手く表現する 表現方法や考え方を学ぶ。	予)エントリーシートの書き方のポイントを考えてくる(約2時間) 復)エントリーシートの基本的な書き方について復習する(約2時間)
第12週	自己表現力を磨く②	前回行ったエントリーシートの内容をさらに深く 完成させる。	予)エントリーシートに書く内容を考えてくる(約2時間) 復)志望企業へのエントリーシートの内容をさらに深める(約2時間)
第13週	自己表現力を磨く③	面接などを想定し、面接官に何を見られているかを 理解する。	予)プレゼンや面接のポイントを考えてくること(約2時間) 復)面接で話す自己PRを再度作り直して人に話すこと(約2時間)
第14週	自己表現力を磨く④	前回行った面接のポイントをさらに深く理解し、自 分に落とし込めるようにする。	予)面接で話す内容を考えてくること(約2時間) 復)面接で話す志望動機を再度作り直して人に話すこと(約2時間)
第15週	まとめ	講義全体を振り返った上で、今後どのように 動いていくのか、自身のキャリアデザインを 確認する。	予)講義の中で学んだことを復習しておく(約2時間) 復)今後の自分の動き方をまとめ、行動計画表を作成する(約2時間)

キャリアデザインⅡ (情報処理工学科) (選択1単位) 1年後期

学生部長、飯田教授、小林隆子*

教
キ
ヤ
リ
ア
育
ア

授業テーマ・内容			
就職活動で必要となる「自己分析→自己PR」「業界・職種・企業研究」「エントリーシート対策」「グループ面接対策」「個別面接対策」を、実践を交えながら抜け漏れなく行っていく。 毎回、授業冒頭に ①数名の学生「60秒プレゼン」、②小テスト、③振り返りシート記入、を実施する。			
到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連			
<ul style="list-style-type: none"> ●実践を通じて、自分に不足している力を知る ●“仕事＝社会で生きる”の本質を知る 主に上記2点の社会人として必要な学びを通じて、自信を持ってキャリアについて理解し、また、授業を通してコミュニケーション能力を身につけることを、この授業開講の狙いとする。			
成績評価の方法・評価基準		テキスト	
期末試験	－%	中間試験	－%
小テスト	－%	レポート	50%
演習課題	－%	平常点	50%
		参考書 「就職の手引き」 補足レジュメを必要に応じて配布	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック			
レポート(振り返りシート)の内容について、毎授業ごとに全体フィードバックを行う			
履修条件・備考		備考	
キャリアデザインⅡに引き続き履修することが望ましい。1年次生対象(社会人学生を除く) 時間厳守。必ず毎回参加し、自主的に行動すること。		担当教員はキャリアカウンセラーの資格を有し、他大学・企業等でキャリア指導・支援の経験を積み実践している	
授業計画			
週	単元	内容	予習/復習
第1回	オリエンテーション	講座の目的と主旨をイメージする。なぜキャリアを考える必要があるか、履修者間でコミュニケーションを取りながら考える。	予)自分のキャリアについて考えてくる(約2時間) 復)1年後期で行う準備について再度整理する(約2時間)
第2週	社会理解を深める①(チーム活動)	業界・職種について、チームごとに、それぞれの役割を決め、研究活動を行う。	予)チームごとに、テーマとなっている課題を通して調べてくる(約2時間) 復)課題に出された業界研究を行う(約2時間)
第3週	社会理解を深める②(チーム活動)	チームの研究活動をまとめ、他者に伝えていく準備(プレゼンテーションの準備)を行う。プレゼンテーションのポイントを知る。	予)チームごとに発表準備を進める(約2時間) 復)チームごとに発表の準備を行う(約2時間)
第4週	プレゼンテーション①	自分たちの研究をプレゼンテーションすると同時に、他者のプレゼンテーションを聞いて自分たちの発表を振り返る。	予)発表に必要なものを準備してくる(約2時間) 復)他者のプレゼンテーション(印象的だったことをまとめておく(約2時間)
第5週	プレゼンテーション②	他者のプレゼンテーションを聞いて、よい点や改善点を具体的に振り返り、自分たちの発表に活かしていく。	予)発表に必要なものを準備してくる(約2時間) 復)他者のプレゼンテーション(良かったりプレゼンテーションとは何かをまとめておく(約2時間)
第6週	社会理解 まとめ	2～5回のチームでの活動、プレゼンを振り返り、社会理解を深め、自らの働く姿を現実的にイメージできるようになる。	予)どうすればもっと良くなったか、課題を考えてくる(約2時間) 復)授業で気づいた学びを忘れないよう、日常生活の中でも生かしていく(約2時間)
第7週	キャリア形成の基準	社会で求められる能力を理解し、自身の仕事選択の基準を明らかにしていく作業を行う。	予)就きたい職業に必要な力を考える(約2時間) 復)就きたい職業に必要な能力を理解し、何をすべきかを再度整理する(約2時間)
第8週	自身の強みを考える①	これまでの経験や体験の中から、自分の強みや長所を見つけ出すために、どのように自分を振り返るかを学ぶ。	予)大学指定の履歴書の項目を理解する(約2時間) 復)自己PR・志望動機を再度整理する(約2時間)
第9週	自身の強みを考える②	エントリーシートや面接等、就職活動の場面において、どのように相手に自身の強みを伝えるか、ポイントを理解する。	予)学生時代に頑張ったことを振り返っておく(約2時間) 復)自分の強みとそれがどんな場面で発揮されたかを再度整理する(約2時間)
第10週	キャリアビジョン	自身の強み、社会理解をふまえ、「キャリアビジョン」のポイントを理解する。	予)なりたいたい自分をイメージしてくる(約2時間) 復)キャリアビジョンを再整理する(約2時間)
第11週	コミュニケーション 社会人としてのマナー	社会人としてのマナーやルールの重要性、就職活動における心構えを押さえる。	予)職場や就職活動に必要なマナーとは何かを考えておく(約2時間) 復)授業で学んだ挨拶や敬語、心構えを復習しておく(約2時間)
第12週	自己表現力を磨く①	エントリーシートを材料に自己を表現する文章力や考え方を理解する。	予)エントリーシートの書き方のポイントを考えてくる(約2時間) 復)基本的な書き方について、忘れないように復習する(約2時間)
第13週	自己表現力を磨く②	履歴書やエントリーシートを“書く”時、面接で“話す”時など、自己表現する際のポイントを知る。	予)エントリーシートに書く内容を考えてくる(約2時間) 復)志望企業へのエントリーシートをさらに深める(約2時間)
第14週	自己表現力を磨く③	面接などを想定し、何を見られているか、そのために何を準備していくのかを理解する。	予)プレゼンや面接のポイントを考えてくること(約2時間) 復)面接で話す自己PRを再度作り直して人に話すこと(約2時間)
第15週	まとめ	講座全体を振り返ったうえで、今後どのように動いていくのか、自身のキャリアデザインを確認する。	予)講座の中で学んだことを考えてくる(約2時間) 復)今後の自分の動き方について、忘れないようスケジュールに落とし込む(約2時間)

企業研修 I

(選択1単位)1年前期又は後期の定められた期間

学生部長、学科長

授業テーマ・内容

- ・ 就職に対する意識を高める。
- ・ 今後の学生自身の成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。
- ・ 社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。
- ・ 企業での実務経験を通じて、実際の仕事や職場の状況を知り、自己の職業適性や職業選択について深く考える契機とする。
- ・ 就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。
- ・ 就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	40%
演習問題	—%
平常点	60%

テキスト

プリントなど

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

派遣学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。

備考

企業の実務経験者による指導を仰ぐ

授業計画

事前に企業の予備調査・研究を実施し、個々の動機づけを明確に位置づけ、目標設定を行えるよう十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、夏季休業期間または後期末試験終了後とする。なお、研修期間により企業研修Ⅱを併せて受講することができる。

企業研修Ⅱ

(選択1単位) 1年前期または1年後期の定められた期間

学生部長、学科長

授業テーマ・内容

- ・ 就職に対する意識を高める。
- ・ 今後の学生自身の成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。
- ・ 社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。
- ・ 企業での実務経験を通じて、実際の仕事や職場の状況を知り、自己の職業適性や職業選択について深く考える契機とする。
- ・ 就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。
- ・ 就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	40%
演習問題	—%
平常点	60%

テキスト

プリントなど

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

派遣学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。

備考

企業の実務経験者による指導を仰ぐ

授業計画

事前に企業の予備調査・研究を実施し、個々の動機づけを明確に位置づけ、目標設定を行えるよう十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、夏季休業期間または後期末試験終了後とする。なお、研修期間により企業研修Ⅰを併せて受講することができる。